

岩手中・高等学校吹奏楽会OB会

平成22年度 定例総会

【総会開会宣言】

OB会運営委員 総務担当

齋藤 晋さん

(29回生 昭和52年卒)

【OB会長挨拶】

岩手中・高等学校吹奏楽部OB会

会長 佐藤 正さん

(16回生 昭和39年卒)

【総会議長選出】

1. 立候補

2. 役員推薦

佐々木 善敏さん

(33回生 昭和56年卒)

【協議】

第1号議案

平成21年度 活動報告

運営委員 総務担当

沼田 陽一さん

(26回生 昭和49年卒)

【平成21年度 活動報告】

- | | | |
|--------|------------|------------|
| 4月11日 | OB会第1回定例総会 | (ニューカーリーナ) |
| 4月26日 | 第1回運営委員会 | (中村委員長宅) |
| 8月23日 | 納涼生ビール祭り | (黄金の魚中の橋店) |
| 10月17日 | 現役定期演奏会応援 | (マリオス) |
| 10月18日 | 第2回運営委員会 | (喫茶チャオ) |
| 12月 5日 | OB会主催 忘年会 | (ニューカーリーナ) |
| 2月13日 | 第3回運営委員会 | (喫茶チャオ) |
| 4月15日 | 第4回運営委員会 | (喫茶チャオ) |

【協議】

第2号議案

平成21年度 会計報告

運営委員 会計担当

工藤 清人さん

(22回生 昭和45年卒)

【平成21年度 会計報告】

科目	決算額	摘要
会費	149,360	(51名分)
利息収入	12	
雑収入	16,000	
前期繰越金	▲ 82,284	
合計	83,088	

<支出の部>

科目	決算額	摘要
事務費	746	(封筒等)
通信費	40,680	(ハガキ、切手代)
現役支援	48,300	(定演時楽器運搬トラック)
合計	89,726	

収入金額83,088円 - 支出金額89,726円 = 次期繰越金▲6,638円

【協議】

第2号議案

平成21年度 会計監査報告

運営委員 会計監査

菊池 浩さん

(17回生 昭和39年卒)

【協議】

第3号議案

OB会会則改正案 審議

提案者

OB会長 佐藤 正さん

(17回生 昭和39年卒)

【OB会会則の改正案主旨】

現在、運営委員長が病気療養中のため、運営委員会の活動に支障をきたしている。

そのため、運営委員に運営副委員長のポストを設置したい。

この設置に伴い、会則の改正について協議していただき、異論なければ早速、今総会より運営副委員長を選出し、運営委員会活動の円滑化を図りたい。

【協議】

第4号議案

平成22年度 活動計画案

運営副委員長

折本 久さん

(35回生 昭和58年卒)

【経緯説明】

2月の運営委員会、治雄先生の退官について情報を得た。

3月に数回、非公式の会合を行う。その後、4月の運営委員会で次のように方針案をまとめた。

【平成22年度 活動方針案】

その一

治雄先生の「御勇退祝い」を
中心にOB会活動を行う

その二

若いOBにつなぐ活動を行う

【平成22年度 活動計画案その1】

治雄先生への慰労について

OB会員が集いやすいよう配慮
通年において、お祝いする会を
企画をする。

つまりは、飲み会のご提案

3段階の慰労会を企画

慰労会企画 その1

定期総会後の慰労会開催

開催日時：6月5日午後7時から

場所：ニューカーリーナ

懇親会名は、

「菊地治雄先生、お疲れさま会」

先生へ感謝の言葉を添え花束贈呈

慰労会企画 その2

第29回定期演奏会後、慰労会開催

開催日時：8月28日（土）午後9時

場 所： 未 定

去年は、お盆の頃を狙って飲み会を企画。

この件に関しては、次の活動計画その2との兼ね合いがあり、詳細を省略。

慰労会企画 その3

「治雄先生ご勇退を祝う会」の開催

日時：12月上旬を予定

場所：未定

企画は、昨年の忘年会で好評を得た「岩手中・高校吹奏楽部の歴史（仮）」スライド上映を行う。（完全版に再編集）また、記念品も贈呈したい。できれば、ご夫妻をご招待したい。

【部活動の写真のデジタル化の長所】

OB会の活動目的と重なる。吹奏楽部の過去の記録や資料がまとまり、保管と保全となる。

会員からの資料提出をすることで、活動の活性化となる。

吹奏楽部の伝統を受け継ぐ

過去の部活動写真をデジタル化し、吹奏楽部の歴史を
まとめ、「DVD又は写真集」を作成する。
その「DVD又は写真集」を治雄先生に贈呈する。

また、OB会から治雄先生へ御勇退記念品を贈呈。
その記念品等の支出のため、通常の会費以外に新たな
特別徴収を会員に募る。
特別徴収方法は、会報とともに送付する会費振込用紙
を使用する。

年会費は3千円、特別徴収を一口、2千円以上とする。
(平成22年度の集金は、合計5千円以上となる見込み)

詳細は、平成22年度予算案で協議したい。

【平成22年度 活動計画案その2】

第29回定期演奏会 OB演奏

定演日時：8月28日（土）午後6時

場 所：マリオス 大ホール

すでに、顧問永田先生に定期演奏会のOB出演企画案を提出、了承済み。
その演奏の指揮者に治雄先生へ依頼する。
当初は、現役生とのジョイントだったが、

【OB演奏を単独で行う上での条件】

- 6月末日までに32名以上のOBを集める
(昔のBクラス編成数 特に木管パートが不足)
- 選曲は、指揮をされる治雄先生のことを考慮し、
ホルスト作曲 第1組曲全楽章 (又は1・3楽章) とする
- 全体練習日や練習場所を確保すること
特に8月は、3回以上の全体練習を行う予定
- 定期演奏会の構成に影響しないような配慮を行うこと
- 現役の模範となる演奏ができること

上記の条件で「出来ない」と判断した場合は
現役部員との合同演奏となる予定

【OB演奏の長所】

現役部員やその保護者に対して、
OB会の活動のアピールとなる

現役部員活動のバックアップとなる
(定演の企画・演出への参加)

【定演後の「慰労会」について】

定期演奏会終了後、打ち上げ懇親会として、「治雄先生、慰労会（仮称）」（第2回飲み会）を企画、開催する。

OB演奏の出演者はもちろん、総会後の懇親会に参加できなかったOBや定演の裏方OBにも声をかけ、治雄先生と懇親する場を提供する。

昨年の実績として、裏方OBや父母会の方との交流もあり、OB会活動を知っていただくチャンス。若いOBとの交流の場ともなる。

平成22年度 方針案その2

若いOBに、つなぐ活動

積極的に若いOB会員や現役部員との交流を行う。

その理由として、

平成23年度は、創部55周年かつ第30回定期演奏会という、一つの区切りの年となる。

そこで、平成23年までは現行のOB活動を行い、平成24年度以降は、若いOB会員へ、OB会組織や活動を引き継ぎたいと考える。

そのためには、次世代のOB会員へ引き継ぐような活動を行うことが理想。

また、今年度のOB会活動は、
治雄先生の御勇退に対する企画が中心
大勢のOB会員の方々のご協力が不可欠

今年8月の定期演奏会でのOB演奏を
成功させ、来年以降のOB会活動に向
けての足がかりとしたい。

【協議】

第5号議案 平成22年度予算案

本年度は、菊地治雄先生の御勇退に関するお祝い企画を計画するため、通常の年会費収入では、大幅な赤字が見込まれる。

そこで、特別会計を新設し、年会費とは別に臨時徴収を図り、会員にご協力を仰ぎたい。

臨時徴収額は2千円とし、通常会費3千円と合わせ、5千円を基本とした。

当然、5千円以上の寄付も受け付ける。

【平成22年度 収入案】

前年度繰越金 ▲6.638円

会費 50人×3.000円 = 150.000円

合計 143.362円

特別会計 50人×2.000円 = 120.000円

【平成22年度 支出案】

〈通常会計の支出〉

通信連絡費	4 0 . 0 0 0 円
事務用品費	1 0 . 0 0 0 円
現役支援費	5 0 . 0 0 0 円
予備費	4 3 . 3 6 2 円
合計	1 4 3 . 3 6 2 円

〈特別会計の支出〉

治雄先生への御勇退記念品代等	1 0 0 . 0 0 0 円
「吹奏楽部の歴史」DVD又は写真集の編集費用	2 0 . 0 0 0 円

【協議】

第6号議案 その他 特別委員会の設置

今年度のOB会活動は、運営委員だけでは人員不足。
そこで会則でも定めている「特別委員会の設置」を提案
任期を平成22年度内とする。

特別委員会は 次の4つの会を設置予定（仮称）

- ①定期演奏会支援委員会
- ②慰労会幹事
- ③記念品準備委員会
- ④吹奏楽部の歴史編集委員会

① 定期演奏会支援委員会（仮称）

定期演奏会でOB出演をする際の様々な準備、手配に関する内容を行う。

具体的には、練習日程や場所の準備、楽器や楽譜の手配。現役部員（顧問永田先生）との調整、治雄先生との調整他。

委員長は、互選。すでに、運営委員会で推薦済み。

委員数は、若干名。できれば演奏会に出演する方から委員長が選出する。

②慰労会幹事（仮称）

定演後の慰労会は、宴会開始時間が午後9時～となり、会場は午後9時過ぎに大勢が集まれる飲み屋となる・・・場所の設定が難しいと思われる。

また、参加人数は、演奏会に出演するOBだけではなく、広く募集を募る。

慰労会への参加意思の確認をするのが主な仕事。

慰労会監事は互選。運営委員会で推薦すみ。

③記念品準備委員会（仮称）

この委員会の仕事は、記念品の購入する際の集金及び、記念品の手配が主な仕事。

会計的な仕事となる予定。記念品の選定が難しいか？

委員長は、互選。

立候補なければ運営委員会から推薦を経て、事後報告とさせていただきます。

運営委員の会計担当 工藤清人さんと一緒に行っていただく。

④吹奏楽部の歴史編集委員会（仮称）

この委員会の内容は、11月までに各卒業生から写真を収集し、その写真をデジタル化。
デジタル化したものを、DVD等にまとめ、忘年会当日に上映する。

おもに、編集的な仕事を中心となる。
運営委員の齋藤晋さんとともに行っていただく。

委員長は、互選。立候補なければ運営委員会から推薦、事後報告とさせていただきます。